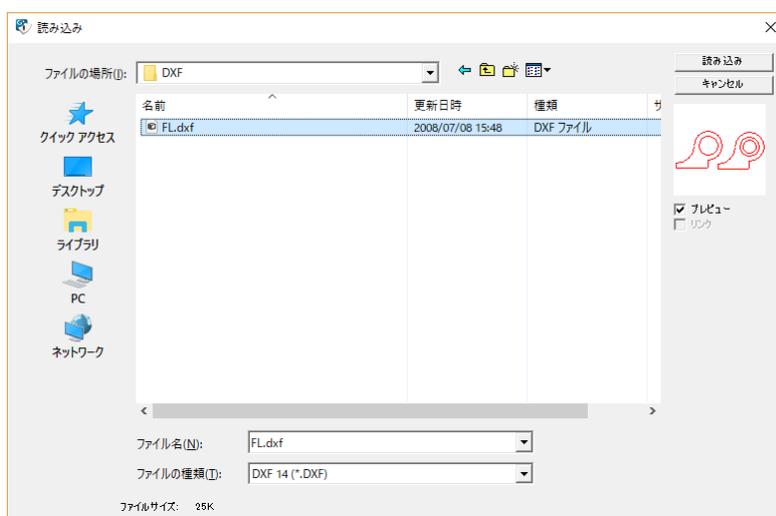


Graphtec Pro Studio Plus での DXF データのカット方法

以下 Graphtec Pro Studio Plus で DXF データを読み込み、Graphtec Pro Studio Plus の機能よりソートおよびカット順番を指定して出力する方法について記述します。

1. DXF データの読み込み

- ① 「ファイル」より「読み込み...」を選択し、「ファイルの種類 (T)」に“DXF 14(*.DXF)”を選択し、カットしたい DXF ファイルを指定して [読み込み] をクリックします。

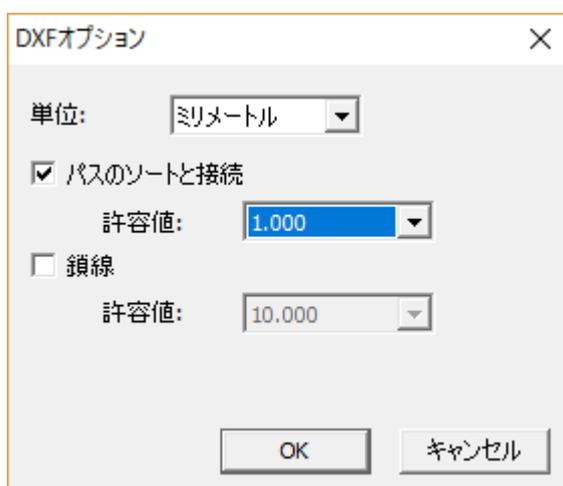


- ② 「DXF オプション」の表示がされます。

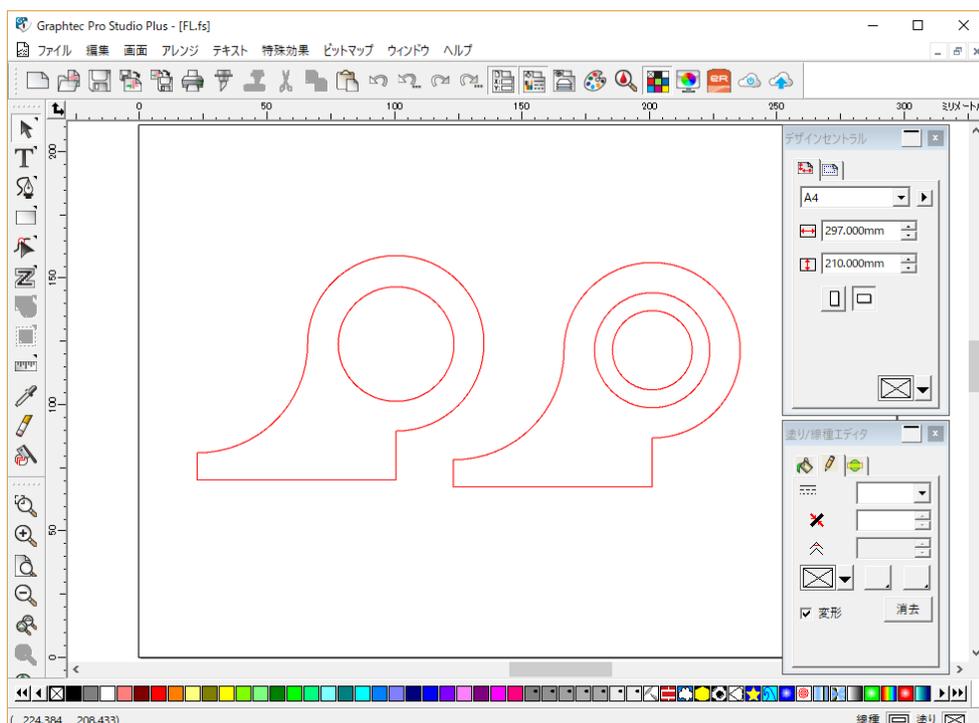
「パスのソートと接続」にチェックを入れると、「許容値」で設定された距離内の離れたパス同士を結合し、一筆描きになるようにソートされます。(Plus のみの機能)

「鎖線」にチェックすると、「許容値」で設定された距離内にある破線や鎖線のパターンを認識して破線や鎖線のパスに変換されます。(Plus のみの機能)

設定が完了したら [OK] をクリックします。

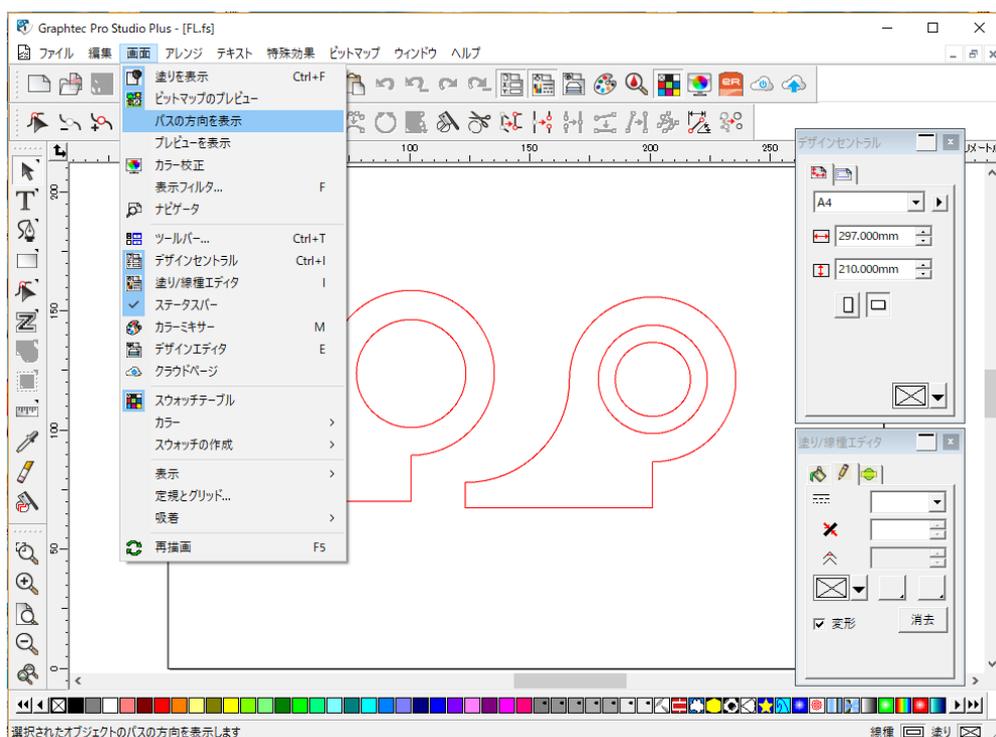


③DXF の読み込みが完了して図形が表示されます。

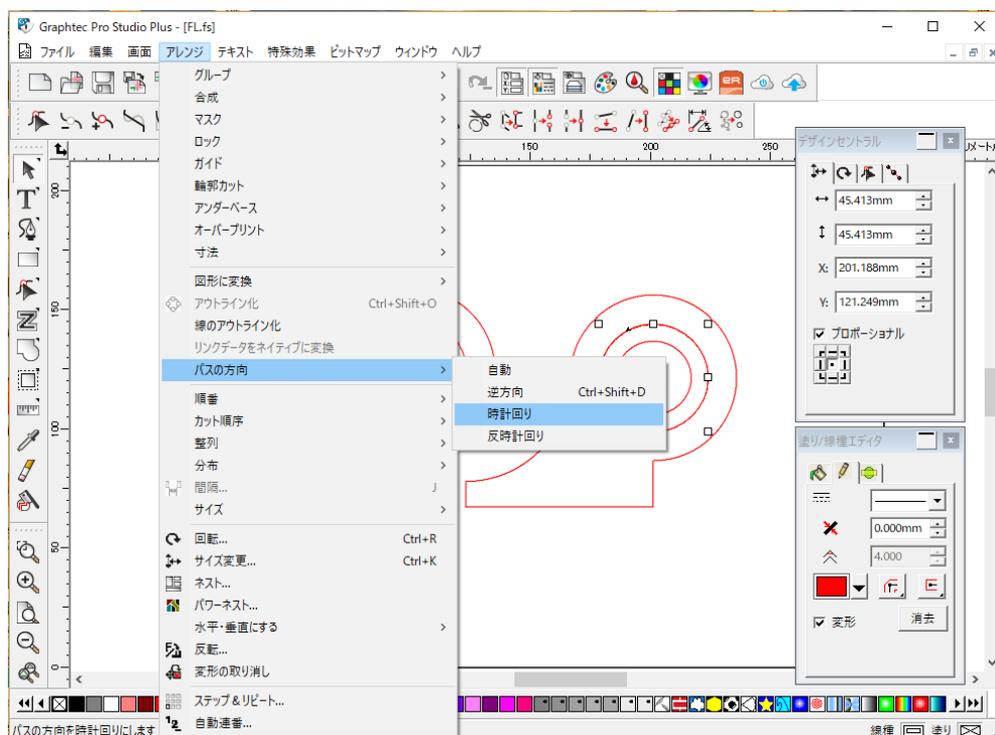


2. パスの方向指定

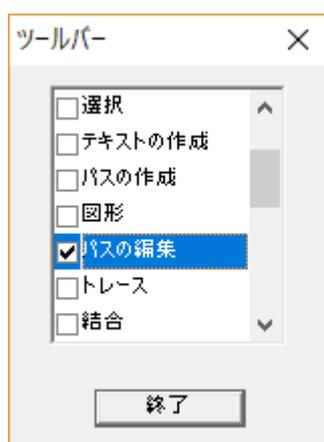
①「画面」から「パスの方向を表示」を選択することにより選択したオブジェクトにカットする方向が表示されます。



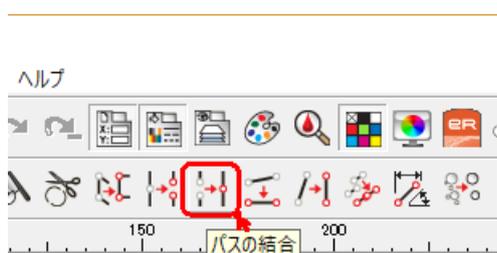
- ②設定したいオブジェクトを選択して「アレンジ」から「パスの方向」を選択すると“自動”、“逆方向”、“時計回り”、“反時計回り”の方向が設定できます。



- ③パスが繋がっておらず一筆描きにならない場合は、「画面」より「ツールバー...」を選択し、「ツールバー」の表示がされたら「パスの編集」をチェックして[終了]をクリックします。この設定でツールバーにパスの編集のアイコンが表示されます。



- ④パスの結合をしたいパスを選択し、「パスの結合」をクリックします。

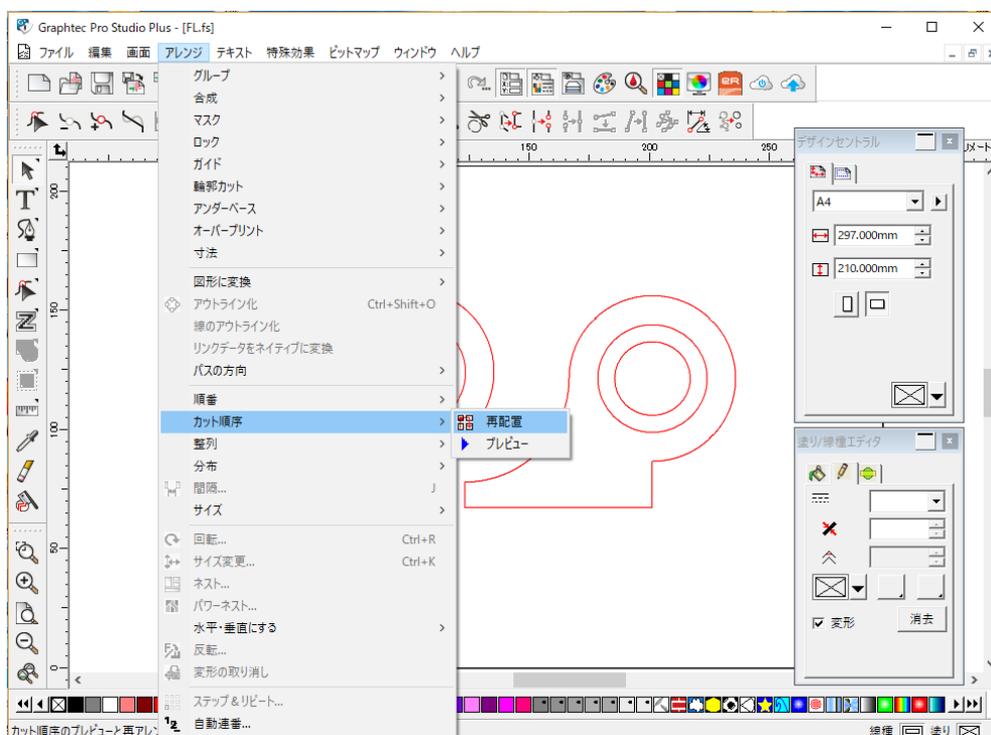


- ⑤ 「デザインセントラル」に「許容値：」の表示がされますので、許容値の数値を設定して適用ボタンを押します。



3. カット順序の再配置とプレビュー (Plus だけの機能)

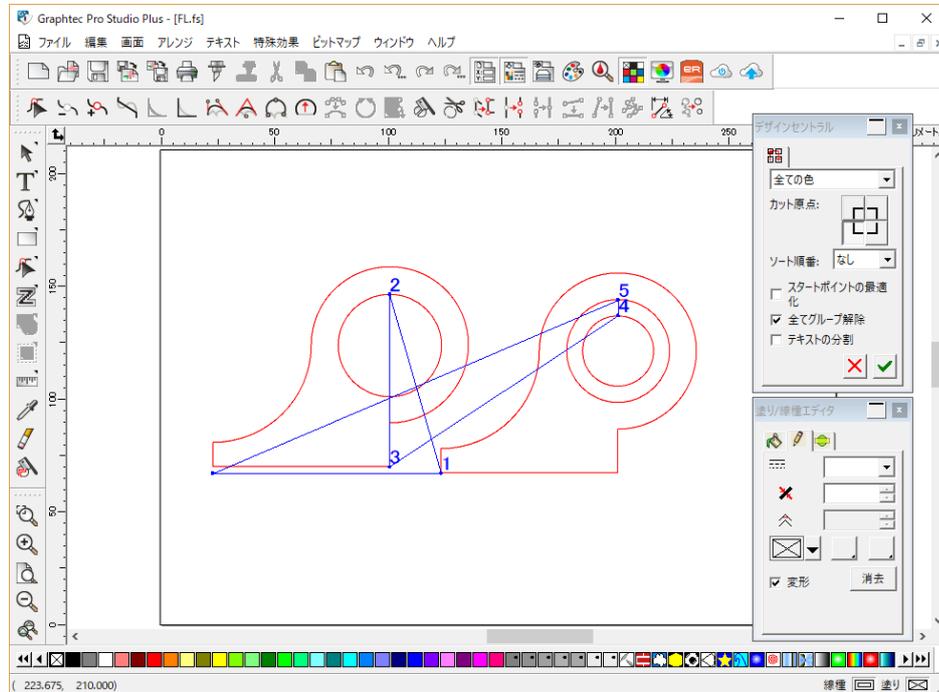
- ① 「アレンジ」より「カット順序」を選択し、「再配置」を実行します。



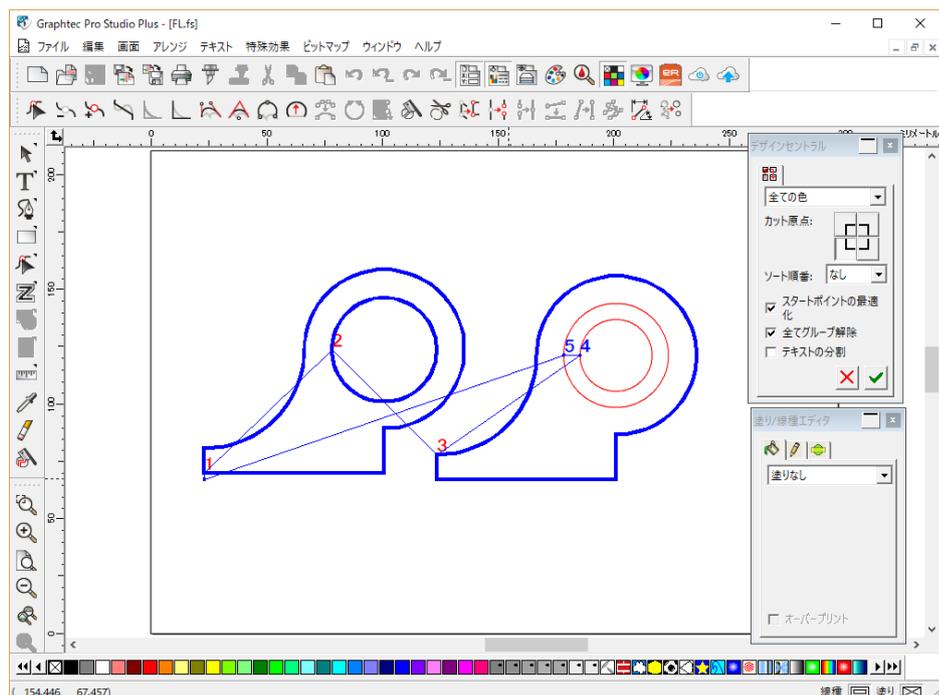
②それぞれのパスにカットする順番が表示されます。

「デザインセントラル」から「カット原点：」、「ソート順番：」、「スタートポイントの最適化」が設定可能で、それぞれの設定によりプレビューに反映されます。

「ソート順番：」は、“なし”、“Xによる”、“Yによる”、“速度の最大化”より選択できます。



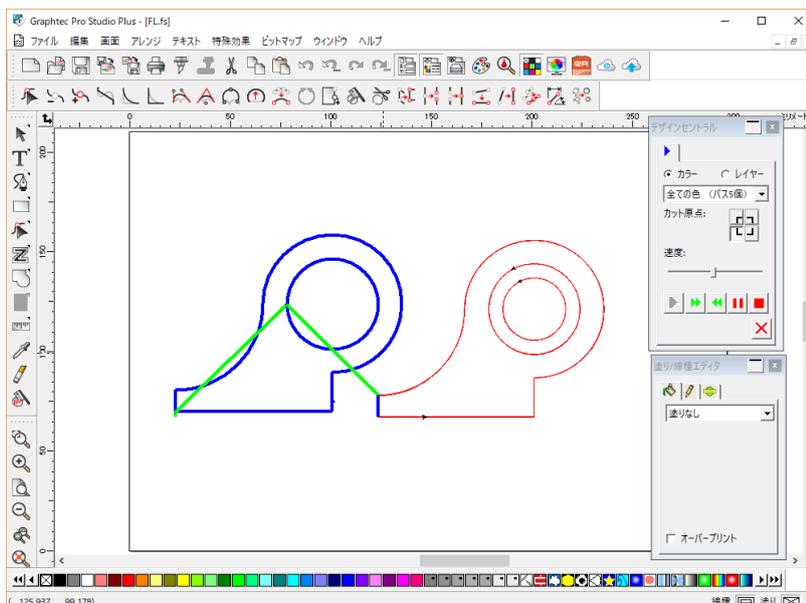
③カットする順番を指定したい場合は、それぞれのパスを順番にクリックすることで設定できます。「スタートポイントの最適化」をチェックするとカットする始まりが、より近い場所から行うようになります。



④ 「アレンジ」より「カット順序」を選択し、「プレビュー」を実行します。

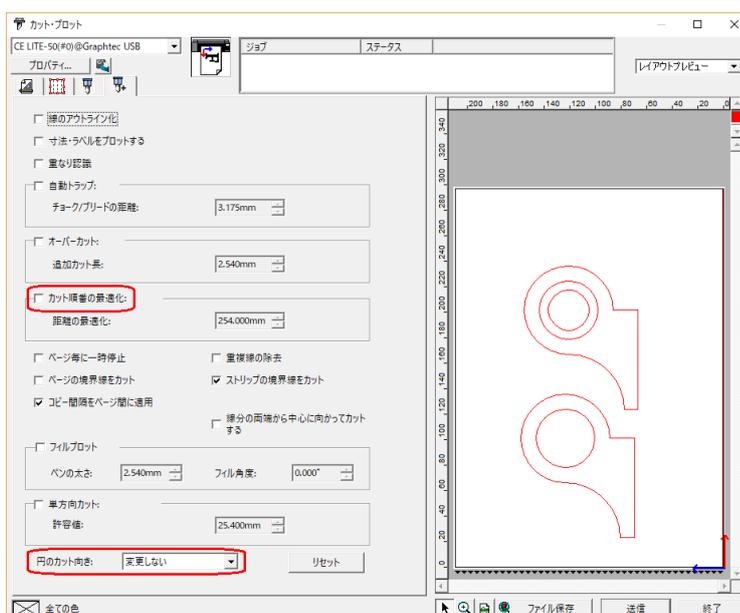


⑤ 指定した順番、パスの向きでカットプレビューが表示されます。



※注意事項

「カット・プロット」の「詳細」タブの中にある「カット順番の最適化：」にチェックされていない事と、「円のカット向き：」が“変更しない”になっていることを確認してください。これらの設定が違うと指定した順序でカットされないことがあります。



以上